

企画名

団体名

発表者名

<ワンポイントアドバイス!>

○プレゼンテーション審査で審査委員が聞きたい内容をもとに、プレゼンテーション資料の見本を作成しました。この見本の内容を盛り込んで、プレゼンテーション資料の作成をお願いします。

○企画書及び申請書を補完する説明を中心に行ってください。
特に、①「教材の目的」及び②「開発する教材の必要性」については、企画書等と重複する説明をできるだけ行わないでください。

○10分間で発表するため、スライドは8~10枚程度にしてください。

①教材の目的

<誰>を対象に、<何>を<どのように>

学ばせることにより、<どのように>体験活動や読書活動が支援・補完されるのかを簡潔に示す。

<ワンポイントアドバイス!>

○貴団体が開発する教材によって、誰に何をどのように学ばせることにより、どのように体験活動や読書活動が支援・補完されるのかを簡潔に説明してください。

○本助成制度は、学校教育の補完ではなく、社会教育の補完であることに注意してください。

②開発する教材の必要性

- なぜ、開発する教材が必要なのか。
- 既存の類似の教材と比べて、どのような点が新しいのか。

<ワンポイントアドバイス!>

○開発しようと考えている教材が、なぜ今、開発しなければならないかを根拠を示しつつ、簡潔に説明してください。

○過去の子どもゆめ基金助成で開発された教材や、インターネット上で提供されている教材に同じような内容の教材がないかを必ず確認し、類似の教材があった場合には、既存の教材と開発する教材がどのように異なるかを説明してください。

③開発する教材の使用方式

- 開発する教材を、<誰>が、<何>を使って、<どのように>使用するのかを簡潔に示す。

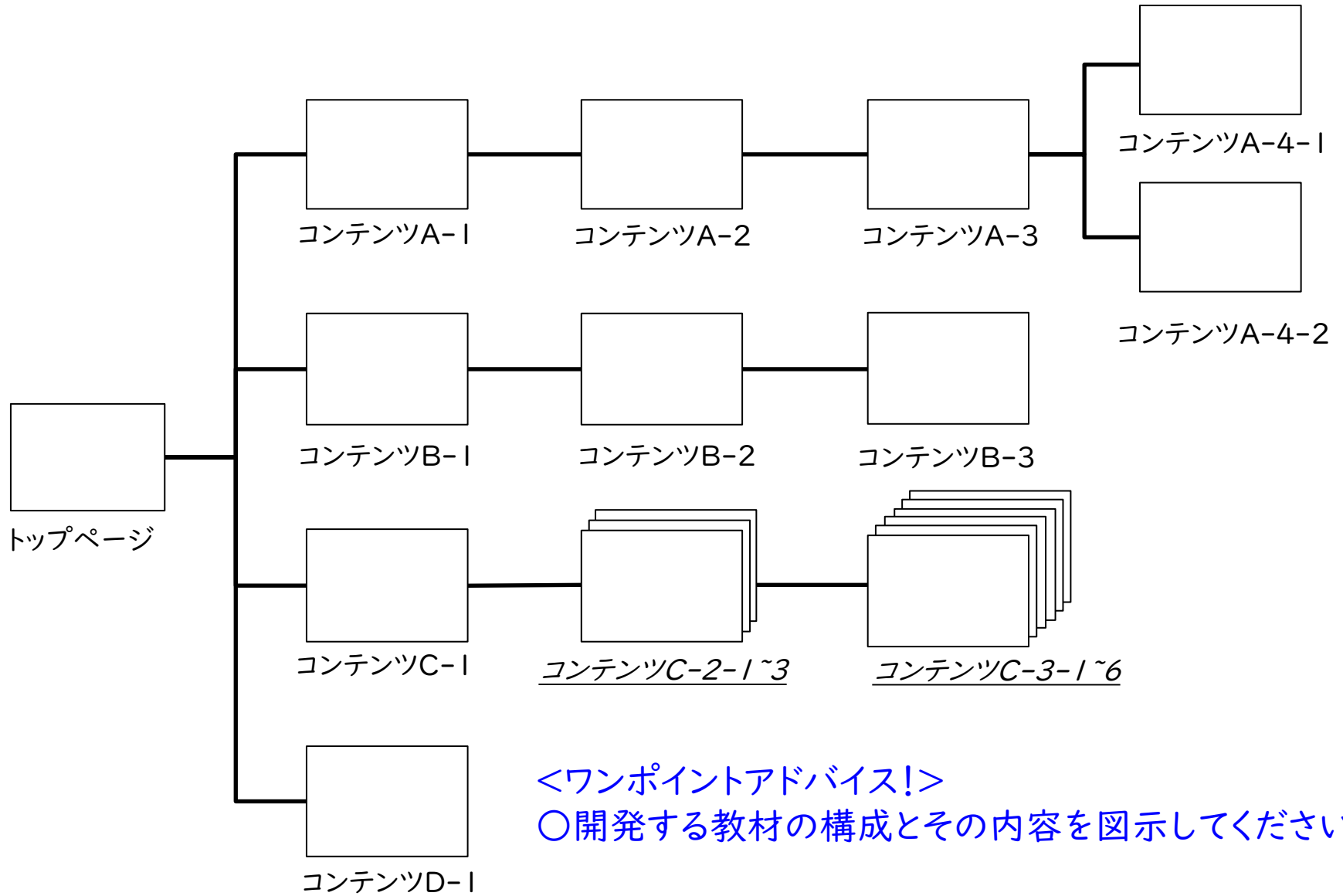
<ワンポイントアドバイス!>

○「誰」に当たる部分には、開発する教材を利用するメインのユーザを入れてください。例えば、小学校低学年の児童、指導する保護者などです。

○「何」の部分には、どのようなメディア（ウェブページ、インタラクティブコンテンツなど）を用いて提供する教材であるかを入れてください。

○「どのように」の部分には、例えば、体験活動を行う前の予習教材として、あるいは、子どもたちが活動を行う時に解説教材として、といった教材の利用場面を入れてください。

④教材の構成(予定)



<ワンポイントアドバイス!>

○開発する教材の構成とその内容を図示してください。

⑤開発する教材のコンテンツ数

<望ましい例>

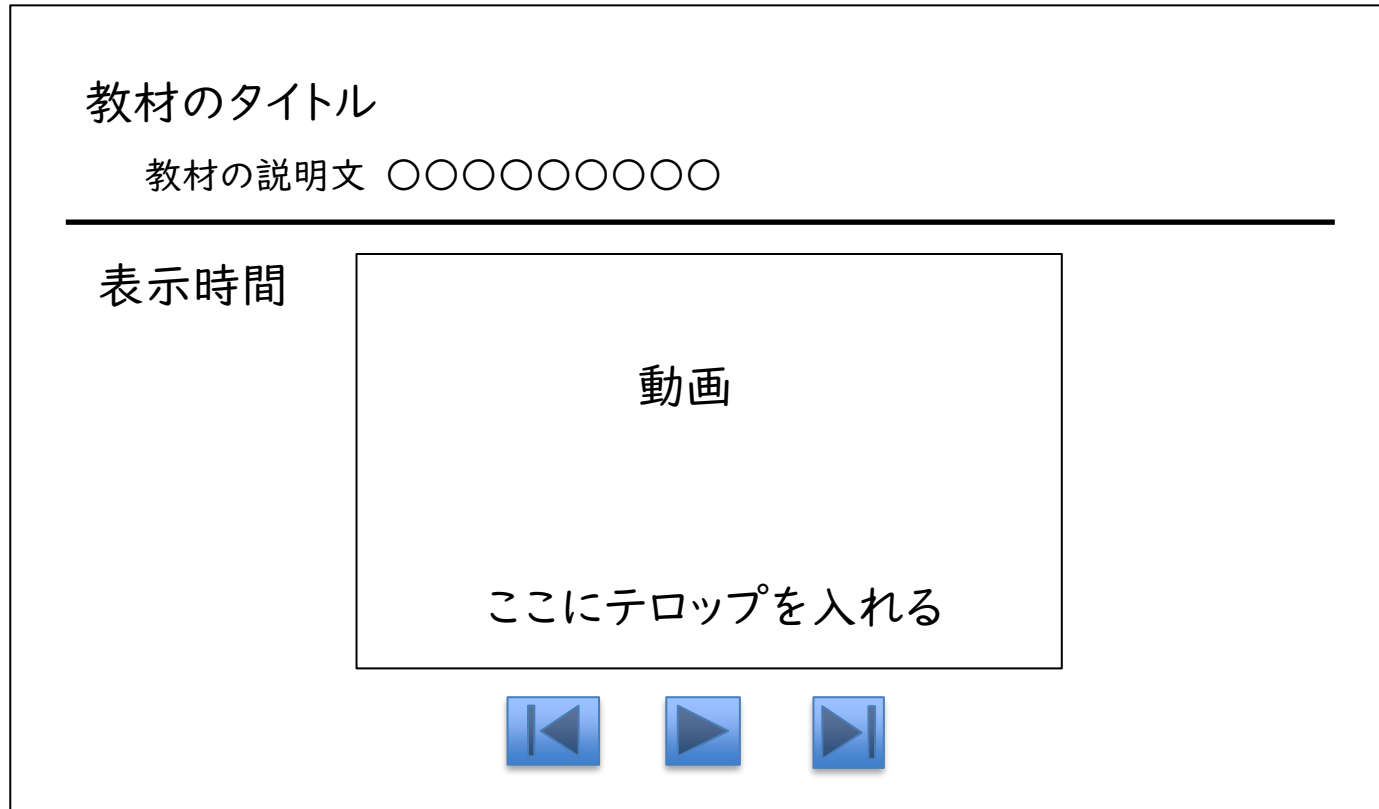
- ウェブページ 15ページ
- インタラクティブコンテンツ 5コンテンツ
- 動画コンテンツ 20コンテンツ
- 静止画コンテンツ 80コンテンツ

<ワンポイントアドバイス!>

- ④「教材の構成」との関係を踏まえて作成してください。
- 「ウェブページ」とは、この教材の使い方等を示すものです。
- 「コンテンツ」とは、開発する教材のことです。
- 開発のボリュームを示すために、ページの分量や各種コンテンツの制作予定個数を説明してください。

⑥開発する教材の主要なイメージ

(例)



<ワンポイントアドバイス!>

○開発する教材の主要な部分について、完成イメージをラフスケッチで示してください。
上記は動画ですが、プログラムも動作イメージを示してください。

⑦開発する教材の教育効果

- 開発する教材を使用すると、どのような<良いこと>があるのかを示す。
- その教育効果を、トライアウトの中でどのように検証するかを示す。

<ワンポイントアドバイス!>

○開発する教材を利用する対象者が、この教材を利用することでどのようなメリットがあるか考えるかを説明してください。

○その有効性を検証する方法(トライアウトの実施とその結果を盛り込んだ改良等)をここで説明してください。

⑧開発する教材の普及計画

- 助成を受けた年度及びその後3年間の普及活動をどのように行うかを示す。

<ワンポイントアドバイス!>

○どういった人が、どのくらいの数、どのようにこの教材を使ってくれるのか、その結果、社会にどのような波及効果があるかを説明してください。

⑨ 審査委員からの質問事項に対する 回答及び対応策・改善点

- 一次審査通過時に審査委員からの個別の質問について、申請書ではどのように対応・改善したのか示す。

<ワンポイントアドバイス!>

審査委員からの質問事項について、申請書提出時に「回答書」で添付いただいた内容を含め、プレゼンテーション審査でも口頭で説明してください。